

「パム」被災者を支援

北区AMDAが募金活動

バヌアツなど南太平洋の国々を襲った大型サイクロン「パム」の被災者を支援しようと、国際医療NGO「AMDA」（北区伊福町3）は25日、北区本町で街頭募金活動をした。職員やボランティア約10人が「支援にご協力ください」と呼び

かけた。

サイクロンは今月13日、バヌアツを直撃。ツバル、キリバスといった周辺の国も被害を受けている。AMDAは岡山市の本部から看護師の山崎希さん(42)をフィジーに、マレーシア・クアラルンプール

の事務所から調整員

の大政朋子さん(42)をツバルに派遣した。

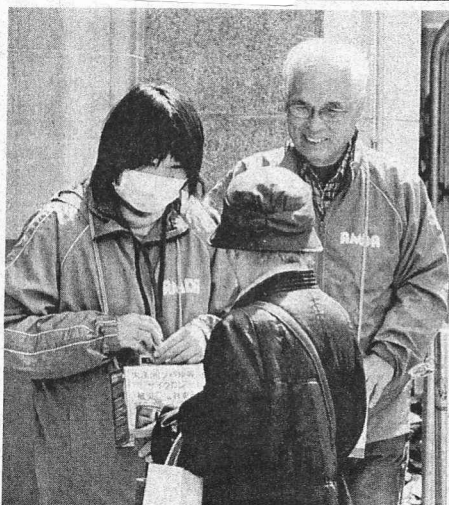
フィジーは比較的被害が少ないが、ツバルは高潮による建物の倒壊や飲料水不足などで支援が必要だという。

移動手段がボートしかないなど交通の便が悪く、他国からの支援があまり入っていない。

AMDAは今後、必要な支援物資を調査し手配する。

AMDAは支援物資の購入や医療活動にあてるため募金を呼びかけている。問い合わせはAMDA（086・252・7700）。

【五十嵐朋子】



大型サイクロン「パム」の被災者を支援しようと、募金を呼び掛ける「AMDA」メンバーら

―北区本町で